

株主メモ

- 決算期 3月31日
- 配当金受領株主
確定日 3月31日
なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
9月30日といたします。
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定基準日 3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。
- 単元株式数 100株
- 公告の方法 電子公告により行います。
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告によることが
できないときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>
- 株式名義書換
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所
（お問合せ先） 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）（証券代行事務センター）
電話03（3323）7111（大代表）
- 同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記の中央三井信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話 ☎0120-87-2031（24時間受付：自動音声案内）
ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>



環境に配慮した「大豆インク」
を使用しています。



古紙配合率100%再生紙

41st

第41期 事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで

weds
株式会社ウェッズ



証券コードNo.7551

車と社会の未来を グローバルに創造する



CONTENTS

株主の皆様へ	
（第41期の営業概況について）2
決算ハイライト（連結）3
第42期業績見通しと 会社の対処すべき課題4
連結財務諸表5
TOPICS7
NEW PRODUCTS9
会社の概要・株式情報10

●株主の皆様へ（第41期の営業概況について）



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて第41期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の当社業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度における我が国経済は、企業業績の拡大が高水準の設備投資と雇用環境の改善をもたらして個人消費を押し上げた結果、バブル期に並ぶ息の長い景気回復局面を迎え、株価も上昇して日銀の量的緩和政策が解除されるに至りました。

自動車用品業界においては、国内新車販売台数が前年比横這いで推移したものの、アフターマーケットは昨年12月の日本列島を覆う記録的な降雪により廉価アルミホイールなど冬季商品需要が増加した他、高級品の3ピースアルミホイール需要も回復傾向を示すなど久しぶりに盛り上がりを見せました。

このような環境下、当社グループは経営体質改善に邁進し、売上高と利益は前年対比増収・増益となりました。

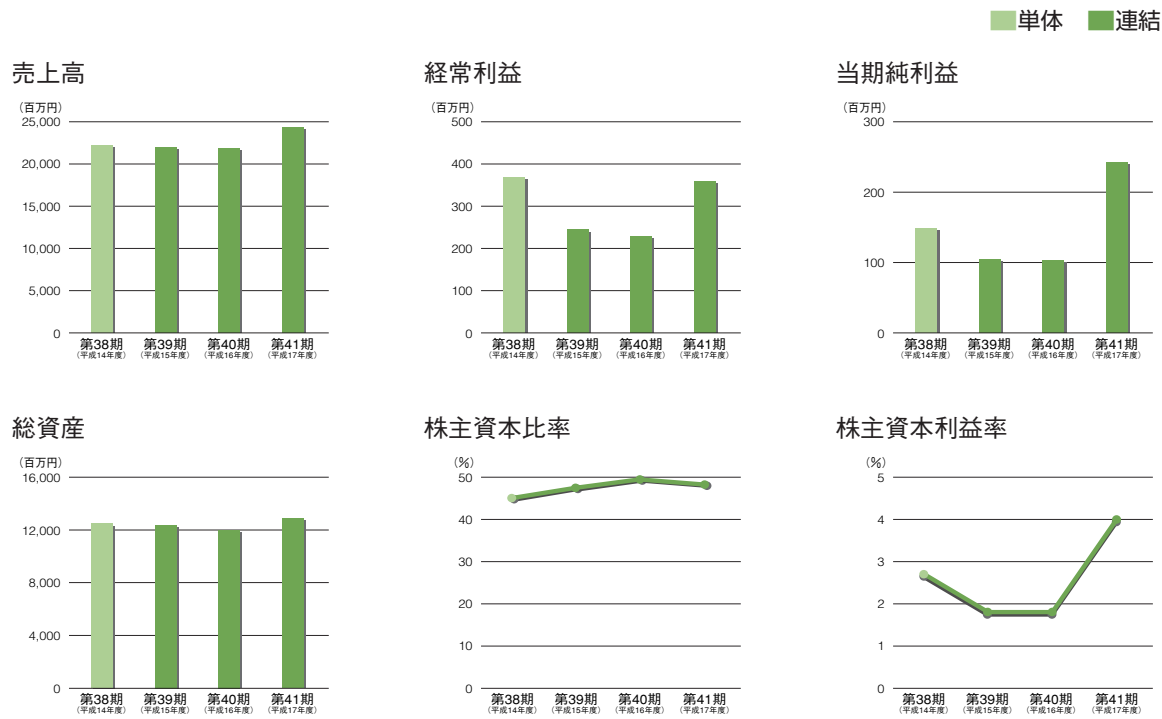
これらの結果、当期の連結業績は、売上高24,398百万円、経常利益358百万円、当期純利益243百万円になりました。当期の設備投資は434百万円であり、全額を借入及び社債発行により賄いました。

また当社は本年3月に(株)スーパースターから高級3ピースアルミホイール製造販売事業を譲り受けて新たに設立した子会社の(株)スーパースターで営業を開始致しました。

依然として厳しい経営環境が続いていますが、株主の皆様には、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年 6月

代表取締役社長 川口 修



項 目		第38期 (平成14年度)	第39期 (平成15年度)	第40期 (平成16年度)	第41期 (平成17年度)
		単体	連結	連結	連結
売上高	(百万円)	22,136	21,746	21,890	24,398
営業利益	(百万円)	350	326	171	358
経常利益	(百万円)	369	244	229	358
当期純利益	(百万円)	149	105	104	243
総資産	(百万円)	12,490	12,406	11,977	12,874
株主資本	(百万円)	5,610	5,877	5,916	6,212
株主資本比率	(%)	44.9	47.4	49.4	48.3
株主資本利益率	(%)	2.7	1.8	1.8	4.0

●平成15年10月1日付で、流通事業本部（小売事業部・携帯電話代理店事業部・開発営業部）を(株)バーデンとして会社分割しましたので、第39期から連結決算を復活しております。

第42期の業績見通し

日本経済は、自律的な景気回復基調を辿り「いざなぎ景気」を超えて戦後最長の回復期を迎えることが見込まれていますが、原油価格高騰等が世界経済に与える影響が懸念されます。

自動車用品のアフターマーケットにおいては、景気回復による波及効果が期待されますが、販売競争の激化並びにアルミホイール原材料価格の上昇等によって、収益環境は一段と厳しさを増すことが予想されます。

当社グループは、競争に勝ち残るべく経営諸課題に鋭意取り組んで参りますが、これらを踏まえた通期の連結業績見通しは、以下の通りです。

売上高	24,400百万円 (前年比100%)
経常利益	450百万円 (前年比125%)
当期純利益	245百万円 (前年比100%)

※上記の業績見通しは現時点で入手可能な情報に基づいて当社経営者が判断したものであります。実際の業績は様々な要因の変化により上記と大きく異なる結果になり得ることをご承知おき下さい。

会社の対処すべき課題

当社グループは、自動車用品アフターマーケットの成熟化や競争激化等により業績が低迷してきましたが、競争力回復に向けて体制強化に取り組んでおります。

対処すべき課題は、自動車関連事業における商品開発力、営業力の強化、商品管理の徹底並びに高齢者複合施設事業の推進等であり内容としては以下の通りです。

1. 自動車関連事業における商品開発力の強化
2. 自動車関連事業における営業力強化及びシステム構築
3. 自動車関連事業における商品管理の強化
4. 福祉事業の拡充
5. 高級品3ピース生産製造販売の拡充

連結貸借対照表（要約）（単位：百万円）

科 目	第41期	第40期
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	7,846	7,590
現金及び預金	1,543	581
受取手形及び売掛金	3,519	3,431
たな卸資産	1,823	2,250
繰延税金資産	129	140
その他	855	1,204
貸倒引当金	△25	△19
固定資産	5,021	4,377
有形固定資産	2,842	2,806
建物及び構築物	1,688	1,721
土地	992	1,020
その他	161	65
無形固定資産	348	23
投資その他の資産	1,831	1,547
投資有価証券	898	654
繰延税金資産	18	14
その他	945	910
貸倒引当金	△32	△32
繰延資産	6	8
資産合計	12,874	11,977

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

科 目	第41期	第40期
	平成18年3月31日現在	平成17年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	3,624	4,644
買掛金	1,503	1,561
短期借入金	1,206	2,052
未払法人税等	67	73
賞与引当金	119	94
その他	726	863
固定負債	3,038	1,415
社債	700	—
長期借入金	1,557	888
繰延税金負債	243	55
退職給付引当金	290	276
役員退職慰労引当金	117	175
その他	130	19
負債合計	6,662	6,060
(資本の部)		
資本金	852	852
資本剰余金	802	802
利益剰余金	4,323	4,159
株式等評価差額金	234	102
自己株式	△0	△0
資本合計	6,212	5,916
負債・資本合計	12,874	11,977

連結損益計算書（要約）（単位：百万円）

科 目	第41期	第40期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
売上高	24,398	21,890
売上原価	20,060	17,957
売上総利益	4,337	3,933
販売費及び一般管理費	3,979	3,762
営業利益	358	171
営業外収益	71	172
営業外費用	71	114
経常利益	358	229
特別利益	81	30
特別損失	12	12
税金等調整前当期純利益	427	247
法人税、住民税及び事業税	79	131
法人税等調整額	104	11
当期純利益	243	104

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）（単位：百万円）

科 目	第41期	第40期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	860	1,672
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△358	△792
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	459	△838
IV 現金及び現金同等物の増減額	961	41
V 現金及び現金同等物の期首残高	581	539
VI 現金及び現金同等物の期末残高	1,543	581

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

連結剰余金計算書（単位：百万円）

科 目	第41期	第40期
	平成17年4月1日から平成18年3月31日まで	平成16年4月1日から平成17年3月31日まで
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	802	802
資本剰余金期末残高	802	802
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	4,159	4,125
利益剰余金増加高	243	104
利益剰余金減少高	79	69
利益剰余金期末残高	4,323	4,159

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

(株)スーパースターが当社グループの一員に！



当社は高級アルミホイール事業を強化することが最重要な戦略と捉えており、本年3月に(株)スーパースターから3ピースアルミホイール製造・販売事業の営業を譲り受けました。今後高級品についてはグループ内で生産工場を保有して、商品調達力、販売力、技術ノウハウを高めて自動車用品卸売事業の利益基盤を拡充していく計画です。高級品は長く続いた景気低迷で需要が伸び悩んでおりますが、当社はウェッズブランドとスーパースターブランドにより市場シェアを高めていく予定です。

ホームページを全面リニューアル

(<http://www.weds.co.jp>)



本年4月よりオフィシャルホームページを全面リニューアルしました。新製品、モータースポーツ、会社、IR、採用といった各種情報を見やすく整理しましたので、どうぞご覧下さい。

またホームページ上でユーザーご自慢の愛車を掲載する企画「ドレスアップカーコンテスト(6月終了)」等これからも内容を充実させていきますので、どうぞよろしくご依頼申し上げます。



輸入車をターゲットにした新高級ブランド“PRESM”を「東京インポートカーショー2006」にて発表

毎年輸入車は販売台数を伸ばしており、より身近な存在となってきていますが、当社も輸入車(メルセデスベンツ)をターゲットにした高級ブランド“PRESM”を立ち上げて「東京インポートカーショー2006」にて発表しました。このブランドにより、新しいマーケットに本格的に参入し、市場シェアを確実に確保していきます。



ウェッズ
キャンペーンガール
小倉 優子

“ウェッズスプリングキャンペーン2006”今年も好調

今年も2月より、販売店及びユーザーを対象にした販売促進企画“ウェッズスプリングキャンペーン2006”を実施しています。昨年冬季の降雪が記録的であったこともあり、新春より今年も好調な売れ行きとなっています。

また、今年のイメージキャラクターは「ゆうこりん」の愛称で親しまれている「小倉優子」を起用して、カタログや店頭を飾る等身大パネルなどを作成配布し、当社のイメージUPにつなげています。



“2006 Super GT Race”今年も参戦中

今年でモータースポーツに本格参戦し21年を迎える“ウェッズスポーツ”。昨年に引き続きウェッズのフラッグシップである“WedsSport Racing Team with BANDO”は“Super GT Race”に“TOYOTA GT CELICA”で参戦し、全国のサーキットで注目を集め、非常に高いブランド認知度を確立しました。

今年こそは表彰台を独占することと思っておりますので、是非ご注目下さい。

卓越したデザインと最高の先進技術で先鋭的なオリジナリティを創出！ 時代の潮流を捉えた個性豊かな商品をリリース！



クレンツェ・ラッツィンガー



クレンツェ バズレイア

クレンツェ LXZ 521 EVO

ペローナ WAT



ZEA style DF

ファーマス MX-R

レオニス DCK



レオニス FST

WedSport TC105N

WedSport SA-70 TT

当社は自動車関連用品の卸売業を営んでいますが、とくに事業の柱であるオリジナルアルミホイールについては高級品から普及品まで幅広く取り揃えてカー用品のアフターマーケットに提供し続けています。

高品質・安定供給・個性豊かで幅広いデザインをリリースすることを主眼として取り組み、技術面では、スーパーGTレースに参戦して得られるデータや技術ノウハウを製品開発に生かしております。

次に個別のブランドについて紹介します。まず10年以上掛けてブランドが浸透した当社フラッグシップである「クレンツェ」シリーズで「クレンツェ・ラッツィンガー」を投入しました。ベーシックな5本スポークですが最旬デザインを投入し斬新なメイキングによりクレンツェブランドの持ち味であるベーシックでありながらトレンドを絶妙なバランスで表現することが出来ました。また、昨年投入し現在大好評の「クレンツェバズレイア」など他のクレンツェ商品もサイズ追加投入等によりブランドの市場認知を高めることに成功致しました。

また、「ペローナ」シリーズからは「ペローナWAT」のニューアイテムを投入しパッセンジャー用組付ホイール市場でのブランド構築を推進しています。

新ブランドとして大口径1ピース専門の「ZEA style DF」を投入しました。破格の大口径感とディッシュとスポークをフュージョンさせた、どのジャンルにも当てはまらない新鮮デザインが特徴です。

ミドルクラスでは11年目の「ファーマス」シリーズと同じく9年目の「レオニス」シリーズで新商品を投入して同カテゴリーの充実と市場シェア強化をはかっています。

モータースポーツを通して得られたデータと技術ノウハウを基に開発している「WedsSport」ブランドには「高剛性」と「超軽量を可能にする極細スポーク」を兼ね備え、スポークを均等配置することで、軽量ながらも応力集中を防ぎ高次元でバランスよく組み合わせさせた「TC105N」をリリースしました。

更には昨年投入し好評である「SA-70」をモディファイした2ピース鍛造も投入しスポーツホイールカテゴリーでのブランド構築に一役買っています。

● 会社の概要・株式情報 (平成18年3月31日現在)

会社概要

商号	株式会社ウェッズ WEDS CO.,LTD.
本社	東京都大田区大森北1-6-8 KDX大森ビル6階
設立	昭和40年10月12日
資本金	8億5,275万円
従業員数	133名
業務内容	自動車用アルミホイール・スチール ホイールを中心とした自動車部品・ 用品の販売

役員 (平成18年6月29日総会後新役員)

取締役社長 (代表取締役)	川口 修
常務取締役	谷越 時義
常務取締役	山口 義弘
取締役相談役	永井 秀哉
取締役	加藤 寛夫
取締役	大村 正夫
取締役	畑井 勇喜雄
取締役	伊澤 秀
常勤監査役	川崎 史博
監査役	木下 金司
監査役	本田 耕介
監査役	竹原 常雄

※取締役加藤寛夫氏は、会社法第2条第15号に定める資格要件を満たす社外取締役であります。
※監査役本田耕介氏及び竹原常雄氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式情報

■ 会社が発行する株式総数	17,780,000株
■ 発行済株式総数	4,445,000株
■ 株主数	798名
■ 大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.49
石原勝成	242,859	5.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	222,000	4.99
ソシエテジェネラル エヌアールエイ エヌオーデイトイ	215,000	4.84
碧海信用金庫	130,000	2.92
ウェッズ従業員持株会	114,310	2.57
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
上坂良夫	59,050	1.33

■ 株価推移

